

出向く宮農レポート

～大根の栽培について～

訪問日:11月12日



南部宮農センター
藤浦 百李

今回は、豊明産直友の会会員の大島巖さんの圃場に訪問しました。

大島さんは農業を始めて35年のベテランです。季節の農作物を豊明・東郷グリーンセンターやインショップ、学校給食に出荷しています。

12月頃から学校給食に出荷予定の大根の生育状況を確認しました。大根の栽培で大切なことは、間引きと追肥です。1回目の間引きは葉の形や生育の良いものを残して3本立ちにし、2回目はさらに生育の良いものを残して1本立ちにします。



冬の寒さ対策として、追肥にグリーンアタックを提案しました。追肥のタイミングは1回目の間引きを終えた後です。

グリーンアタックは、硝酸態窒素を含んでいるため低温期でも速効性の肥効を示し、土壌に栄養を与え作物の育成を促進します。大根以外にも様々な野菜に使用できるため、低温期の追肥として人気のある肥料です。



大島さんは仲間と協力して作業を行っています。訪問日はボランティアの方が集まっており、小松菜、チンゲン菜などの収穫を行っていました。

今後も学校給食やグリーンセンターへ品質の良い野菜を出荷していただくため、定期的な栽培指導を実施していきます。

